

汎用化された水田で多品目野菜の高品質・安定生産を実現 ～神協産業株式会社～

経営体の概要

事業実施前：平成23年
基幹作物：施設野菜、露地野菜
経営面積：2.45ha

事業実施後：令和5年
基幹作物：施設野菜、露地野菜(なす、スイートコーン等)※国営受益地内は露地野菜のみ
経営面積：4.45ha(うち、国営受益地内 2ha)

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

- 狭小不整形かつ分散錯圖、用排水分離もされていない湿田で機械利用の制約も受ける非効率かつ不安定な営農条件。
- 農業機械が入れないような農地を中心に耕作放棄地が増加。



【現在】

- 国営南周防土地改良事業(平成23年～)により、整形・汎用化された水田が整備されたことで、作業効率が向上し、営農条件が大幅に改善。
- 汎用化された水田では、干湿害の軽減による収量・品質の向上のほか、降雨後も地耐力が確保されることで、適期を逃さず計画的な作業が可能。



営農改善、経営転換等のポイント

①事業参入の契機

リタイアした担い手農家の農地を引き継ぐ形で事業に参加。田布施町の御蔵戸団地等で集約化された好条件の農地を確保・経営規模を拡大し、畑作の担い手として活躍。

②単収の向上と安定生産

降雨後の迅速な排水と地耐力の向上により、天候に左右されやすい播種・収穫などで計画的な作業が可能となった。また、営農条件が改善したことで、露地なす栽培において長期採りが可能となり、単収が増加するとともに、安定生産が可能となった。

③実需に応じた野菜の生産

営農条件が改善し、作物選定の自由度が向上したことで、実需者の求めに応じて、なすやとうもろこしのほか約10種の多種多様な野菜の生産に取り組んでいる。また、中山間の谷地田で団地間が離れているといった不利な条件を花粉のコンタミが回避できる好条件と捉え、交雑しやすいホワイトコーンの栽培に取り組み、田布施町の特産品化を目指して新規栽培者の指導も行っている。

④流通・販売の工夫

生産物は大手スーパーやイタリア料理店との契約栽培により出荷しているほか、高品質なミニトマトをジュースに加工して販売しており、JRが運行する周遊型寝台列車でも提供されるなど好評を博している。



はくさい



なす



とうもろこし(ホワイトコーン)

事業概要

事業種：国営緊急農地再編整備事業
関係市町：山口県光市、柳井市、熊毛郡田布施町
受益面積：577ha
事業期間：平成23年～令和9年
事業目的：区画整理、排水改良 等
主要工事：区画整理 390ha、農業用排水 36ha、暗渠排水 182ha

位置図



＜問い合わせ先＞

中国四国農政局
農村振興部農地整備課
営農指導係
電話：086-224-4511
(内線：2562)

(令和5年度調査時点)